

ハマヒサカキ(ツバキ 科)

Eurya emarginata (Thunb.) Makino

兵庫県：Cランク

環境省：-

種の概要

常緑の小高木または低木、高さ4mくらい。海岸に生え、多く分岐し、小枝は細く、径1.5mmばかり、淡灰褐色で軟毛の多いものがふつうであるが、ほとんど無毛のものもある。葉は小枝に仮2列状に密に配列し、葉身はやや厚く、倒卵形、長さ2-4cmになり、幅1-1.8cm、先端は円形またはわずかに凹入し、低平な鋸歯があり、縁は裏面に多少反り返り、表面には強い光沢があつて濃緑色、裏面は淡色、脈は表面で凹入し、ふつう主脈のみは裏面で隆起する。葉柄は長さ1mmばかり、基部は小枝に沿下して不明瞭な稜角をなす。海岸など風の強い所のは葉が厚くなり、葉縁が強く裏面に巻き込む傾向がある。花期は暖地では10-11月。雌雄異株。花は葉腋に1-4個束生して下向きに開く。

国内分布

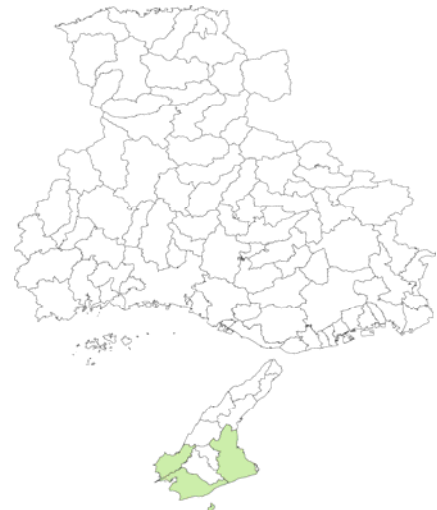
本州(中南部)・四国・九州・琉球

県内分布

洲本市、西淡町、南淡町

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
		○		○		○



特記事項

海岸の限られた環境に生育し、県内の分布域も狭い。2009年版での追加種。

保護上の留意点

生育地の保全